

## スタッフ

脚本 畑澤聖悟  
演出 齊藤理恵子  
美術 阿部一郎  
照明 鷺崎淳一郎  
音楽 寺田鉄生  
音響 坂口野花  
衣裳 山田靖子  
映像 八木克人  
舞台監督 中村 卓  
舞台監督助手 村松眞衣  
切り絵 まちこ  
宣伝美術 早田二郎  
制作 田辺素子  
協力 青森県立三本木農業高等学校  
青森県動物愛護センター

東奥日報 2017年 6月 13日



朝日新聞 2017年 8月 14日 夕刊

## げきだんどら 劇団銅鑼 Since1972

人々の暮らしに演劇が溶け込み、心豊かな人生の糧となること—  
それが私たちの願いです。

鈴木瑞穂・早川昭二など劇団民藝出身者を中心に発足。劇団員約 50 名。  
「平和」と「人間愛」を求め、「本当に人間らしく生きることとは何か」をテーマに活動。  
日本全国はもとより海外にも活動の場を広げ、  
子どもたちから大人まで幅広い年齢層に、感動の舞台を届けている。  
1978 年以来、「青少年に豊かな文化を」との願いから、  
『明日へ出発』『センポ・スギハラ』『俺たちの甲子園』『らぶそんぐ』  
『Big brother』『エイジアン・パラダイス』『ハンナのかばん』『チャージ』など  
全国の高等学校・中学校・小学校・おやこ劇場での上演を続けている。  
映画・テレビ・CM など、出演者多数。

どうして「銅鑼」なの？

出航の合図として鳴らされる銅鑼。船が大海原に乗り出していくイメージで命名しました。  
また銅鑼は、新劇の発祥である築地小劇場で開演ベルとして鳴らされていました。

〒174-0064 東京都板橋区中台 1-1-4 tel.03-3937-1101 fax.03-3937-1103  
e-mail: info@gekidandora.com URL: http://www.gekidandora.com  
Twitter (@gekidandora) facebook (theatercompanydora)

## 劇団銅鑼

# いのちの花

脚本 畑澤聖悟 演出 齊藤理恵子

原作

向井愛実著「いのちの花」  
(株式会社 WAVE 出版刊)

瀧 晴巳著「世界でいちばんかなしい花」  
それは青森の女子高生たちがペット殺処分ゼロを目指して咲かせた花  
(ギャンビット刊)



農業高校に入学したマナミたちは、見学で訪れた動物愛護センターで  
殺処分された動物たちの骨が、「ゴミ」として捨てられていることを知る—  
声を上げることもできずに死んでいった動物たちの「いのち」を再生させようと立ち上った、  
5人の女子高生の実話の物語。

# あらすじ

青森県立三本木農業高校。  
その敷地面積は、東京ドーム11個分！  
その広い大地と青空の下、希望に胸を膨らませて動物科学科に入学したマナミたち。

1年目は寮生活。  
可愛い制服を着ることもなく、毎日作業着で、早朝から糞の匂いにやられながらも家畜たちの世話に励む日々。  
そして飼育しているニワトリを実習で解体し調理して自分達で食べる。

「いただきます」という言葉の意味を考える。

そして、東日本大震災—

ある日、見学に訪れた動物愛護センターで、殺処分された動物たちの骨が「ゴミ」として捨てられていることを知る—

自分たちにできることはないだろうか？



「モタモタしてたら鶏が苦しくて可哀相だぞ！」



「ボタンひとつで、犬たちが、猫たちが、追込まれて、殺されて、焼かれるんですか？ ボタンひとつで？」

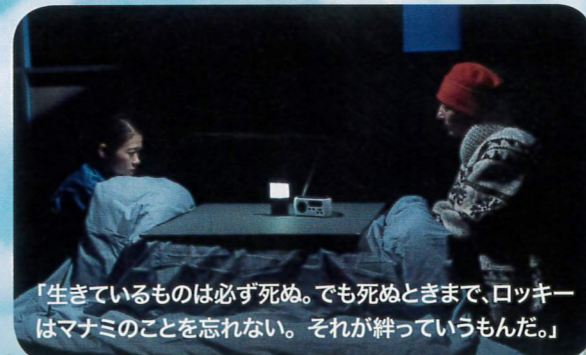
声を上げることもできずに死んでいった動物たちの「いのち」。  
彼女たちは、動物たちの骨を使って花を咲かせ、蘇らせることを思いつく。  
名付けて“いのちの花プロジェクト”。  
彼女らが咲かせた花を受け取ってくれる人はいるのだろうか？



撮影 / 那波智彦



「この花の、里親になってください！」



「生きているものは必ず死ぬ。でも死ぬときまで、ロッキーはマナミのことを忘れない。それが絆っていうんだ。」

